

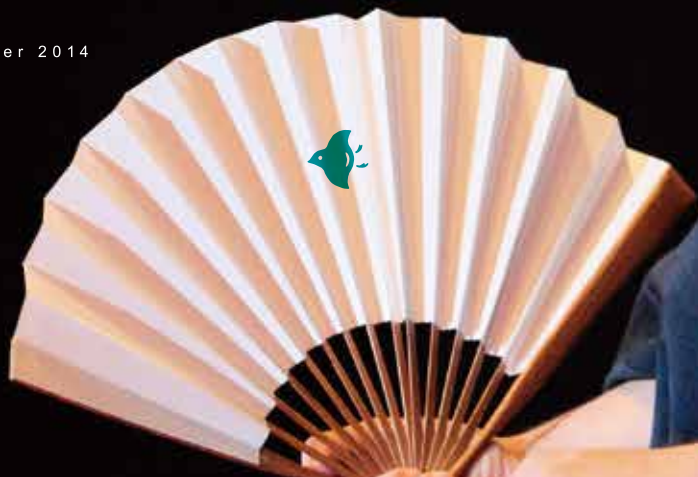
[発行] 札幌市教育文化会館  
アクト第18号

# act

art,  
culture,  
tradition

## 18

November 2014



落語のつくり方

# 落語

座布団一枚分の、ちいさな空間。時には威勢のよい町人、時には色気たっぷりのおかみさん、しったかぶりする坊さんや恨んで出てきた幽霊まで人の世を映すさまざまなものがたったひとりの噺家の軽快な言葉で、あるいは沈黙でその空間に、生みだされていく。笑いあり、涙あり、感動あり。ひとりの人間だけで描く完成された世界が、そこにはある。

桂 枝光

Katsura Shikoh

[落語]

# 落語の作り方



プロからアマチュア、落語家といっても様々。いったいどんな人たちが落語をつくっているのだろう？ 札幌の落語の「今」を追いかけます。



極楽亭やご

Gokurakutei yago



藤花亭  
梅殊

Toukatei umeshu



日之出家  
金助

Hinodeya kinsuke



極楽亭  
とんぼ

Gokurakutei  
tonbo



わて家  
わらく

Watega waraku



茶会家  
楽志

Sakaiya tanoshi



# さっぽろ落語の いま、をつくる。

明治時代には、狸小路の付近に7軒もの寄席があったという札幌。現在、札幌に常設の寄席はなくなってしまいましたが、落語人気がじわじわと上昇してきています。プロの落語家の落語会から、市民が主催する手作り寄席まで、札幌で落語をつくる方々にお話を聞きました。

## アマチュア落語家に聞いてみよう!

寄席の運営をしていたら、いつの間にか噺す側に。  
昨年からはじめたばかりの日之出家 金助さんに  
素人落語について聞いてみました。

## Q & A



ひの で や きんすけ  
日之出家 金助さん(北海道)  
すでに年齢は四十を過ぎながら、「落語好き」というだけで2013年末に継家小太郎(現段落)一門(札幌落語倶楽部)に入門。初代日之出家金助の名をもらう。入門2ヵ月ほどで初高座。

### Q1 落語をはじめたきっかけは?

最初は狸寄席(※)の運営をしていたんですが、やってみたいかと誘われて。もともとお笑いが好きで、自分で何かを作りたい趣味が欲しかったんですね。



### Q2 稽古はどうやっていますか?

僕は、落語のCDを繰り返し聞いて覚えています。あとは月1回開かれる「札幌落語倶楽部」の稽古会で演じ、アドバイスもらっています。これが本番より緊張するんです…。

### Q3 素人落語の魅力は?

着物と、座布団一枚で始められるところですね。それから、こんな演出があるんだ…とか、着物の着こなしか、落語の楽しみ方が増えました。



札幌落語倶楽部：毎月原則第2火曜に稽古会を開催。問合せ/TEL.090-7583-9282 (大原雅樹)

※狸寄席とは 市民団体「狸小路に常設演芸場をつくる会」が主催。落語だけではなく、漫才・演芸なども楽しめる寄席ならではのスタイル。札幌に和と笑いの文化を根付かせ、2016年には隔月開催の常設寄席を実施させることを目標に、元気に活動中。

## 小狸寄席の楽屋から

アマチュア落語家や芸人が集って芸を競う「小狸寄席」。出演前の日之出家金助さんの楽屋姿をごらんあれ。

高座に上がるのは今日で4回目。さて、会場のウケは…?

緊張感を大事にするため、できるだけ直前に着替えるそう。この日は着物屋さんに着付けしてもらったため、はやめに着替え。着物はもちろん自前です。

出番までは落語をiPodで聴きながらイメージトレーニング。聴いているのは三遊亭小遊三さん。

漫才をはさんでの出番。出囃子がかかって、いよいよ高座に上がる。

感想  
緊張はしなかったけど、まだまだ稽古不足。次回に向けて、もっと修業します…!

## 江戸落語と上方落語

東京と大阪、それぞれの地で発展した、日本独特の話芸。

ひとことで落語といっても、東京の落語「江戸落語」と大阪の落語「上方落語」のふたつがあります。どのような違いがあるのか、という話言葉の違いはもちろんですが、高座に上がってからの様式にも若干違いがあります。上方落語は座布団の前に小さな机「見台」と、その前に「膝かくし」と呼ばれる小さなついたてを置くことがあります。また、「小拍子」という木でできた小さな拍子木が

あり、場面の転換の際に使われます。そして、上方落語の特徴であり魅力のひとつでもあるのが「ハメモノ」。噺の途中で三味線や笛、太鼓などが入り、場面を盛り上げ、風情ゆたかに落語を楽しむことができます。江戸の「酢豆腐」と上方の「ちりとてちん」のように江戸・上方両方に共通する噺もありますが、それぞれオチや演出が異なることもあり、聴き比べるのも一興です。



## プロに聞いてみよう!

## 【インタビュー】 INTERVIEW

23年前に北海道に移住し、プロとして落語会を続けてきた唯一の落語家であり、平成開進亭亭主である桂枝光さんにお話を聞きました。

## いちからつくて育てる、それが枝光流の落語愛。

落語の「ら」の字もなかったですよ、20年前の札幌は。高座に座って「いてるか〜」って噺を始めたら、お客さんみんなが、誰か来たのか?って会場の入り口を見るんです。お客さんが落語の見方も知らない、そんなところからのスタート。東区・中央区・豊平区・厚別と白石の5カ所で地域の会館を借りたりして毎月落語会を開いていました。平成開進亭を始めたのは10年前、師匠の五代目桂枝光が危篤状態にあったとき、たまたま札幌にも寄席があったという文献に出会ったんです。寄席の第一号は明治4年の「席亭山下」。狸小路での先駆は、明治12年の「市川亭(いちかわてい)」。でも明治25年に狸小路のあたりが全部火事になってしまって、そのあと民衆の心を癒すため、その跡地に寄席(後の開進亭)が建ち、その後競い合うように7軒ほどできました。当時の入場料が11銭で、ちょうど酒一升分買えるくらい。平成開進亭はそれを守って料金は2千円にしています。平成開進亭は毎月やってるから、なるべくみなさんに来てもらいやすいように。そのかわ

り、全部手作りの寄席。会場づくりからチケットの手配から、何もかも自分たちでしないといけません。平成開進亭を始める時、毎月やるのは相当しんどいとわかってたから、根性いりましたね。やりますって手をあげて、お客さんが入りませんからフェイドアウト…そんなんでは、笑われると思いました。これが失敗したら、逃げて北海道を出るくらいの気持ちでしたよ。おかげさまで落語会は、ゲストのレベルが年々上がってきています。来年は平成開進亭が10周年、さらに東京でもトリをとっているような人をゲストにお呼びして。ここまでの人が来てくれるのは、ちゃんとした落語会を続けてきたから。誰でも笑うようなネタばかりではなく、俺がどんなネタに挑戦してきたか、それが大切なんです。難しいネタにも挑戦することで、お客さんも育つ。そういう落語会だからゲストに何度も足を運んでいただいて、いいネタを聴かせてもらえる。北海道にきて23年、落語の種を蒔いて、育てて…。みなさん、落語を愛して、育ててくださいね。

## PROFILE

二代目  
桂枝光  
[かつら しこう]

1959年、大阪市生まれ。78年、桂小文枝(のちに五代目桂枝光)に入門。79年、「桂小つづ」命名。91年に北海道に移住し、96年、「二代目桂枝光」を襲名。現在、札幌と大阪を拠点として精力的に上方落語を楽しめる落語会を開催中。



噺家の、すぐ近くで聴く。

## 落語会に行ってみよう。

### シアターZOO寄席

【開催日】2015年1月4日(日) 昼の部13:00 開演 夕の部15:15 開演  
【会場】シアターZOO(中央区南11条西1丁目)  
【料金】昼の部:一般 1,500円  
65歳以上/ぶんぶんクラブ会員優待 1,000円(要予約)  
夕の部:前売 2,500円 当日 3,000円  
【出演】桂枝光、桂雀三郎 他  
【お問い合わせ】TEL.080-7000-6403(平成開進亭)



### 平成開進亭

【開催日】2015年1月20日(火) 18:50 開演  
【会場】男女共同参画センター エルプラザ3Fホール(北区北8条西3丁目)  
【料金】一般 2,000円(全席自由)  
ぶんぶんクラブ会員優待 1,800円(要予約)  
【出演】桂枝光、瀧川鯉昇  
【お問い合わせ】TEL.080-7000-6403(平成開進亭)



### 小狸寄席

【開催日】2015年1月10日(土)13:00開演  
【会場】札幌プラザ2・5「さっぽろ狸ぼんぼ座」(中央区南2条西5丁目 狸小路5丁目)  
【料金】1,000円(前売・当日とも) 小学生以下 500円  
【出演者募集中! 申し込み・お問い合わせは事務局まで(12月15日〆切)】  
【お問い合わせ】狸小路に常設演芸場をつくる会(狸寄席の会)(まめくら内)  
TEL.011-511-6777 受付時間:水~日曜日 12時~18時



さっぽろ落語しらぎく亭 <http://sapporo.rakugokai.info/>

札幌エリアの落語会・落語寄席・落語コラム・寄席感想などを楽しめるWEBサイト。